

ICT(情報通信技術)を活用したコンテナ輸送効率化 シャーシ共同利用化の実証実験を行います

1.目的

シャーシ及びシャーシプールを複数の陸運事業者で共同利用することで、シャーシの走行距離の削減・ふ頭内の混雑軽減、保有シャーシの削減によるコスト削減、メンテナンスの平準化・安全性の向上、ドライバー等の業務の軽減等の効率的なシャーシ運用に取組み、生産性の向上を図ることを目的にシャーシ共同利用化実証実験を行います。

今回の実証実験では、最適なシャーシを自動選定するシャーシマッチングシステム、コンテナターミナル付近で集約化された利用しやすいシャーシプールを活用したシャーシ運用の効率化について検証を実施します。

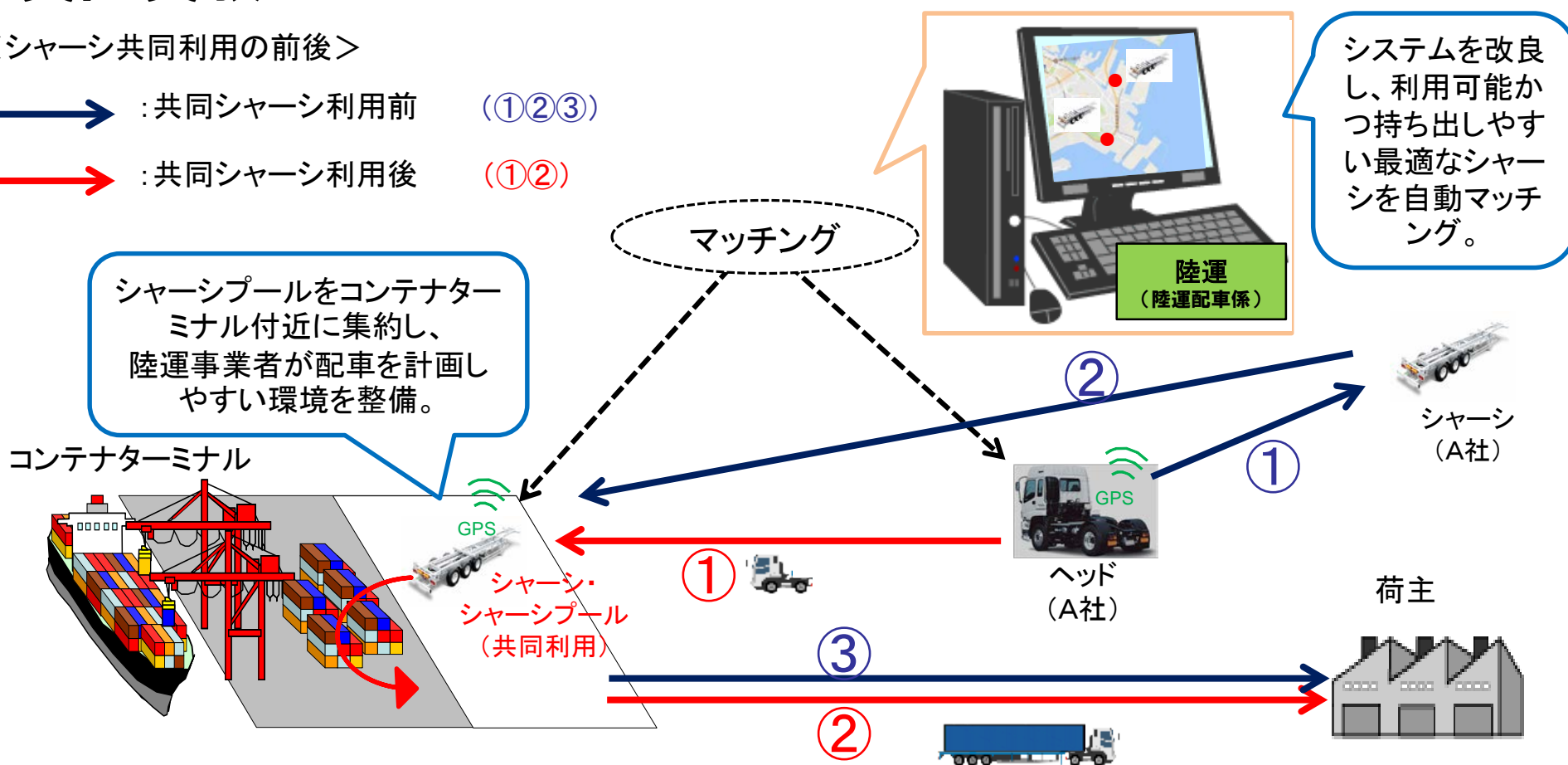
2.実施期間・実施場所

- 期間 : 平成31年3月6日(水)~3月13日(水) ※日曜日を除く
共同シャーシプール : 横浜港南本牧ふ頭 MC-2ターミナル前、
横浜港本牧ふ頭 HD-4ターミナル前
対象シャーシ : 40ftコンテナ用シャーシ 12台、20ftコンテナ用シャーシ 12台
対象ヘッド : 神奈川県トラック協会海上コンテナ部会 29台
(平成30年2月~3月の実証実験に引き続き、2回目の実証実験となります)

3.実証実験のしくみ

<シャーシ共同利用の前後>

- : 共同シャーシ利用前 (①②③)
→ : 共同シャーシ利用後 (①②)



お問い合わせ

国土交通省 関東地方整備局 港湾空港部 クルーズ振興・港湾物流企画室
公平(こうへい)、森川(もりかわ)、瀬戸(せと)

TEL 045-211-7437

MAIL pa.ktr-portlogistics@ml.mlit.go.jp